

第52回高知糖尿病チーム医療研修会のご案内

謹啓 時下、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

第52回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、坂出市立病院 大工原 裕之先生から「糖尿病のある人に未来を笑顔で過ごしていただくことの重要性～GIP/GLP-1受容体作動薬治療の実践～」、すぎもと眼科 杉本 光生先生から「糖尿病患者における糖尿病網膜症および糖尿病黄斑浮腫の発症時期と早期介入の重要性」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

謹白

第52回高知糖尿病チーム医療研修会

幹事 エール薬局 田村 昌士

記

日 時：2026年 6月 28日(日) 13:00～17:00

場 所：総合あんしんセンター 3階「大会議室」

**対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師
管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、
歯科衛生士、その他医療・介護スタッフ**

参加費：1,000円

【講演要旨】

「糖尿病のある人に未来を笑顔で過ごしていただくことの重要性

～GIP/GLP-1受容体作動薬治療の実践～」

大工原 裕之 先生(坂出市立病院 糖尿病内科)

糖尿病治療における血糖管理について、ガイドラインではHbA1c 7.0%未満を目標としている。しかし、糖尿病データマネジメント研究会のデータ(2021年度)によると、現状の2型糖尿病のある人の血糖管理は十分とはいえず、HbA1c7.0%未満を達成していない割合は51.1%となっている。経口血糖降下薬治療で血糖管理不十分な場合、早期に注射療法を開始したいが、糖尿病のある人のネガティブな想いの一つに、「一度注射を始めると一生止められなくなる」という根深く、大きな誤解が存在する。その注射という治療のハードルを軽減するため、そして血糖値を改善したいと思いを抱いている糖尿病のある人の治療意欲の背中を押してあげる、そんな治療手段の一つとしてチルゼパチドを使用している。病歴の長くないうちにチルゼパチド治療を開始することで、体重を増やさず、糖毒性を解除して注射剤治療を離脱できた自験データを報告した。注射剤療法はタイミングを逃さず早期に開始して、内因性インスリン分泌を回復させて注射を止めることができれば、治療を受けた人から大変喜ばれるものである。そして、消化器系有害事象発現時には、患者さんへの向き合い方、患者さんとのコミュニケーションの取り方が、それを乗り越えていく鍵となる。また、チルゼパチド治療の前後において食行動アンケートをとった結果、食欲、食事の嗜好の二つの面から、食行動にポジティブな変化がみられた。糖尿病治療の根幹となる食事療法への影響が浮き彫りにされたことを、第28回日本病態栄養学会年次学術集会で報告した。

「糖尿病患者における糖尿病網膜症および糖尿病黄斑浮腫の発症時期と早期介入の重要性」

杉本 光生 先生(すぎもと眼科)

糖尿病では自覚症状のない段階から糖尿病網膜症が進行し、糖尿病黄斑浮腫は視機能に直結する重要な病態である。本講演では、糖尿病発症から網膜症出現までの時間経過に着目し、臨床データおよび日常診療の経験を踏まえて概説する。さらに、網膜症の進行と血糖コントロールとの関連、ならびに糖尿病黄斑浮腫の病態と治療介入のタイミングについて整理する。加えて、抗VEGF療法および硝子体手術の実際について動画を供覧し、治療選択と介入時期について解説する。無症状期からの定期的な眼科フォローの重要性を示し、糖尿病療養指導士を含む多職種連携による早期発見・早期治療の実践につなげることを目的とする。

参加申込書

参加受付

参加には事前登録が必要となります。参加をご希望される場合には、以下の2つの方法のいずれかより、「事前登録」をお願い申し上げます。

【申込締切日】 **2026年 6月19日(金)**

① FAX/Email による申し込み

高知糖尿病チーム医療研修会 事務局

〒780-0824 高知県高知市城見町4-13 高知記念病院 ☎ 088-883-4377

FAX 088-882-6261

E-mail: dm.kochikinen@gmail.com

ご施設名： _____

ご施設住所： 〒 _____

電話番号： () _____

代表者のE-mail： _____

- | | | | |
|------------|-------|-----|-------|
| 1. 申込み代表者名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 2. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 3. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 4. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |
| 5. ご芳名 | _____ | ご職種 | _____ |

※行が足りない場合、用紙をコピーしてご記入の上、FAXしてください。

② URL/二次元コードによる申し込み

■ URLから登録(PCなど)

下記のURLをクリックして、「事前登録」に進んでください。

登録用URL <https://forms.office.com/r/Wd2PKE0hLA>

■ 二次元コードをスキャン(スマートフォン/タブレットなど)

右記の二次元コードをスキャンして、「事前登録」に進んでください。



登録画面より、必須項目(①氏名 ②職種 ③施設名 ④メールアドレス(任意))を入力の上、ご登録ください。登録が完了すると、事務局より、登録いただいたメールアドレスに登録完了のメールを送信させていただきます。

■当研修会は、下記の研修認定単位を取得することができます。

- ・ 日本医師会 生涯教育講座(2単位) (申請中)
- ・ 日本臨床衛生検査技師会履修点数(基礎-20点) (申請中)
- ・ 日本栄養士会 生涯教育(2単位)
- ・ 日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定 (申請中)
- ・ 日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修<第2群>1単位 (申請中)
- ・ 日糖協糖尿病認定医取得のための講習会 (申請中)
- ・ 日糖協登録歯科医のための講習会 (申請中)
- ・ 高知県糖尿病療養指導士単位認定(4単位) (申請中)

会場案内図



共催 高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進会議
高知県医師会
高知県病院薬剤師会

公益社団法人高知県栄養士会
公益社団法人高知県薬剤師会
高知県歯科医師会
高知県糖尿病療養指導士会

後援：公益社団法人高知県看護協会
一般社団法人高知県臨床検査技師会
公益社団法人高知県理学療法士協会

※ 共催、後援については、現在申請中

【プログラム】

12:00 ~ 受付

13:00 ~ 13:05 開会挨拶

第52回研修会幹事 田村 昌士 先生(エール薬局 薬剤師)

13:05 ~ 14:05 教育講演1

司会 池田 幸雄 先生(高知記念病院 医師)

「糖尿病のある人に未来を笑顔で過ごしていただくことの重要性
～GIP/GLP-1受容体作動薬治療の実践～」

演者 大工原 裕之 先生(坂出市立病院 医師)

(共催:日本イーライリリー株式会社/田辺ファーマ株式会社)

14:05 ~ 14:15 休憩

14:15 ~ 15:15 教育講演2

司会 田村 昌士 先生(エール薬局 薬剤師)

「糖尿病患者における糖尿病網膜症および糖尿病黄斑浮腫の
発症時期と早期介入の重要性」

演者 杉本 光生 先生(すぎもと眼科 医師)

(共催:日本イーライリリー株式会社/田辺ファーマ株式会社)

15:15 ~ 15:25 休憩

15:25 ~ 16:55 シンポジウム「糖尿病療養指導の現状と課題」

司会 中野 知子 先生(ひなた薬局 薬剤師)

濱田 三紀 先生(高知記念病院 看護師)

① 池上 公一 先生(いの薬局 薬剤師)

「災害時における糖尿病患者への対応と薬局の備え
～インスリンと情報を途絶えさせないためのアプローチ～」

② 山崎 宣侑 先生(細木病院 理学療法士)

「当院における糖尿病教育入院での理学療法士の役割」

③ 神谷 綾 先生(幡多けんみん病院 看護師)

「早期フットケア介入とセルフケア支援による下肢救済の実践
—多職種連携における看護の役割—」

④ 濱田 一豊 先生(高知赤十字病院 看護師)

「当院形成外科病棟における糖尿病足潰瘍患者への
フットケアとセルフケア支援の現状と課題」

16:55 ~ 17:00 閉会挨拶

第52回研修会幹事 田村 昌士 先生(エール薬局 薬剤師)